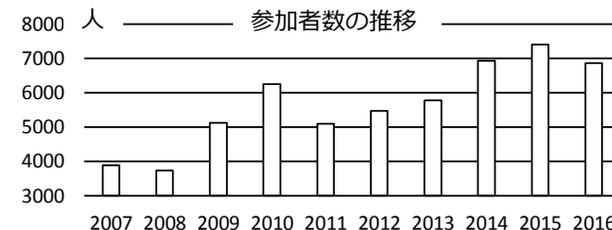
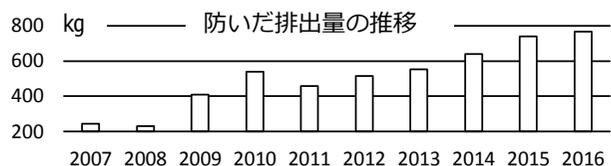


やっちゃんエコライフ2016取組み結果

- ・市民、事業所、小中高生と家族のみなさんなど合計6,870人参加。
- ・二酸化炭素約766kg（過去最高）の排出を防ぐことができました。
- ・中間市全世帯約2万世帯が約72分間消して防いだ排出量に相当。
- ・リッター15kmの燃費の自動車1台が約4,950km走行しないで防いだ排出量に相当。

やっちゃんエコライフ2016 集計結果表

参加者名	参加数(人)		防いだ排出量(g)	参加率(%)
	本人	家族		
小学1～3年生	377	688	27,563	37.9
小学4～6年生	342	526	31,412	36.5
小計	719	1,214	58,975	37.2
中学生	673	177	94,358	64.1
高校生	1,150	207	151,692	76.5
小中高小計	2,542	1,598	305,025	
小中高等学校職員	167	97	43,698	37.0
市職員	340	299	92,939	
遠賀川河川事務所	7	5	1,892	
宗像・遠賀福祉保健環境事務所	13	21	4,718	
地球温暖化防止活動推進センター	13	22	5,007	
リサイクル総研	4	-	1,364	
リサイクルプラザ	20	9	5,293	
各企業・事業所	310	261	77,222	
市内各団体	46	33	16,473	
37自治会	591	294	178,656	
団体・自治会不明	113	64	33,431	
他	1	-	363	
小計	1,625	1,105	461,056	
合計	4,167	2,703	766,081	
総計	6,870			



初めて参加した小学1年生の意見

- ・ぼくができることは、まずごはんをのこさずたべようとおもいました。
- ・てれびやでんきのつけっぱなしをしないようにかぞくでがんばりました。
- ・つかわないへやのでんきやみずをたいせつにしていまいにちごはんをのこさないでたべるのをがんばります。
- ・ちきゅうをまもりたいとおもいます。 ・おんだんかをなくしたいです
- ・わたしもちきゅうをきれいにしたいです ・つかわないへやのでんきをけしました。
- ・ようじをしているときはてれびをけしました。

小学1年生の家族の意見

- ・この機会にごはん・おかず・食べ物を残すことの話が親子でできました。
- ・毎日当たり前前に車にのっていることに、親の方が考えさせられました。
- ・子どもと一緒に楽しくエコに取り組めた。明日からもつづけていこうと話しました。
- ・水を出しっぱなしにするとどうなるか、ごはんを残すとどうなるか、話しました。
- ・子どもたちと一緒にエコライフについて話せたことがとてもよかったです。
- ・みんなで一緒に歩いて買い物へ行きました。ちょっと遠かったけど楽しかったです。
- ・日曜日は、みんなで意識をしてテレビや電気のつけっぱなしをしないように気をつけました。
- ・「エコライフDAY」を実施する事により、小学生でも自分が、地球の環境を守れる事が出来るのだと気付けたので良かったです。

参加者・協力団体

市民のみなさん、中間市内全小学校（6校）全中学校（4校）、北九州高等学園、希望が丘高校、中間高校、国交省遠賀川河川事務所中間出張所、福岡県宗像・遠賀保健福祉環境事務所、福岡県地球温暖化防止活動推進センター、中間市役所、中間・遠賀リサイクルプラザ、イオンなかま、底井野郵便局、筑豊電気鉄道、東罐マテリアル、豊田パン、深江工作所、福岡銀行中間支店、藤津薬局、中間市自治会連合会、中間市環境衛生協議会、中間市老人クラブ連合会、中間市婦人会、中間ライオンズクラブ、中間市ボランティア連絡協議会、中間市シルバー人材センター、中間市文化団体連合会、混声合唱団もみの木、女性合唱団ドレミ、女性ネット、子育て支援キューピー、中間ほたる・メダカの会、中間市EM普及会、中間市食生活改善推進会、他

主催：中間市民環境会議 なかまの環境を良くする会
特別協賛：北九州市立大学国際環境工学部二渡研究室

後援：中間市、中間市教育委員会 協賛：福岡県地球温暖化防止活動推進センター
問い合わせ先：なかまの環境を良くする会事務局（中間市 環境保全課）093-246-6265（直通）



